



9月は健康増進月間 健康なまち いずみさの みんなでつなぐ

健康づくりと食育の環

市では、標記の基本理念のもと健康寿命の延伸を基本目標として、令和2年3月に「第2次泉佐野市健康増進計画・食育推進計画」を策定しました。平成28年3月に健康都市宣言も行い、すべての市民が健康に暮らせるまちの実現を目指しています。

問合先 健康推進課

高齢者肺炎球菌予防接種

65歳になったら、公費での高齢者肺炎球菌予防接種の対象になります。対象の人には、65歳の誕生日月の翌月に案内ハガキを送付しています。

※案内ハガキが届いた人でも、自費も含め接種歴がある人は対

象となりません。

対象 本市に住民登録があり、次のいずれかに該当し、自らの意思と責任で接種を希望する人（すでに23価の肺炎球菌ワクチンの接種を受けたことがある人は対象外）

①接種日当日に満65歳の人（65歳の誕生日前日から66歳の誕生日前日までの人）

②接種日当日60歳～64歳の人で、身体障害者手帳1級所持または相当程度の人

※脾臓を摘出した人、公害認定者などは、医療保険などの対応とするか接種医と相談してください。

接種回数 1回

自己負担金 4,000円

※減免制度あり

持ち物 健康保険証・医療証など本人確認ができるもの、案内ハガキ、身体障害者手帳（②のみ）など

場所・申込 指定医療機関（左記の二次元コード）へ直接予約



▲指定医療機関

減免制度

市民税非課税世帯の人には自己負担金免除券を発行するので、事前に健康推進課へ本人確認ができるものを持参して申請してください。

※10月以降は混み合うので、早めに申請してください。

生活保護世帯の人は、生活保護受給者証明書の原本を直接指定医療機関へ提出してください。

問合先 健康推進課



水道基本料金の減免制度

65歳以上の人だけで構成される高齢者世帯は、水道など基本料金の減免を受けられる場合があります。

※同一住所にある人全員が65歳以上に限る

申請を希望する場合は、所得制限がありますので、まずは電話で問い合わせてください。
申請・問合先 地域共生推進課

みんなでV.O.S.を食べに行こう

泉佐野保健所では、8月～10月にV.O.S.が食べられるお店を紹介する「V.O.S.提供店マップ」を作成しました。マップを見てアンケートに答えると、抽選で素敵な景品が当たります！みんなでV.O.S.を楽しみながら、健康的な食生活を送りましょう。

問合先 泉佐野保健所（☎462-7702）



▲V.O.S.メニュー
ロゴマーク

V.O.S.とは、野菜・油・塩の量に配慮した、主食とおかずを組み合わせたヘルシーメニューです。（基準：野菜120g以上、脂肪エネルギー比率30%以下、食塩相当量3.0g以下）



▲府ホームページ

スポーツタウンWALKER のアップデート 「ヘルスコネクト」との 連携はお済みですか？

6月9日(月)にAndroid版スポーツタウンWALKERの仕様変更がありました。

アプリのアップデートおよび「ヘルスコネクト」との連携ができている場合、健（検）診ポイントを付与することができます。これから健（検）診を受ける人は、健（検）診受診前

に操作をお願いします。

「ヘルスコネクト」との連携方法は市ホームページ（ID：14500）をご覧ください。

問合先 健康推進課

※連携が困難な人は予約制で説明しますので問い合わせください。



▶市ホームページ

長寿者祝賀事業

【長寿祝金】

●90歳祝賀

対象 9月1日現在で住民基本台帳に登録されている満90歳の人
支給額 一人1万円

●100歳祝賀

対象 住民基本台帳に登録されている大正14年3月31日以前に生まれた人（令和7年3月31日時点で満100歳以上の人）
支給額 一人10万円

いずれも

支給方法 対象の人には「長寿祝金の申請書」を送付します。

※申請書に必要書類などを記入、添付し郵送で提出してください。提出書類の確認後順次、指定の本人口座に振り込みます。

【長寿者祝品】

満90歳を迎えた人に祝品を9月中に郵送します。

対象 住民基本台帳に登録されている昭和9年9月2日〜昭和10年9月1日生まれの人

※申込不要

問合先 地域共生推進課

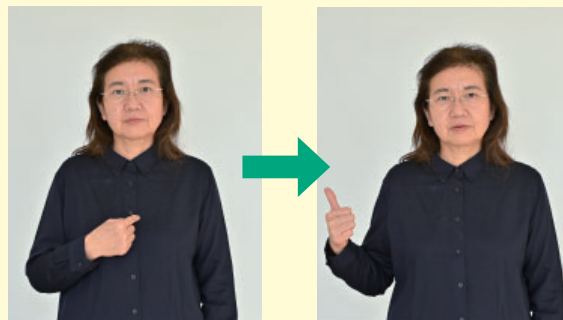
☎4933・2196

手話をやってみよう！

～ワンポイント手話講座②～

今月の手話「夫、主人、亭主」

右手の親指を立てて胸から弧を描いて斜め前へ置く
問合先 地域共生推進課



ドイツ・モンゴル編

問合先 自治振興課 ☎429-9174

10月13日祝まで開催されている大阪・関西万博に合わせて、市の国際交流員などの国のパビリオンを紹介します。今回は「ドイツ館とモンゴル館」編です。ぜひ、機会があれば、本市の姉妹都市のパビリオンに一度行ってみてください。

国際交流員通信
～大阪・関西万博特集～

【ドイツ館（ナタリー通信）】

ドイツ館は、タイトル、建築、展示のすべてにおいて「サークル（循環）」というコンセプトを中心に据えています。パビリオンの名称「わ！ドイツ」には、次の3つの意味が込められています。循環型経済（環）という包括的なテーマを表す「輪」、自然と技術の調和を示す「和」、そして来場者に驚きや感動を与える「わ！」です。

外側からは、循環型（素材の再利用）建築の精神に基づく円形の形状を眺められます。内側では、一人ひとりに付き添うドイツ館のゆるキャラ「サーキュラーズ」とともに、ゲームなどを通じて循環型の世界を体験することができます。ベートーベンなど有名なドイツ人のキャラクターたちにも出会えます。

さらに、文化、音楽、ダンス、ゲーム、スポーツなど、さまざまな分野のステージプログラムも楽しめます。レストランでは、ドイツビールと一緒に本場のドイツ料理を味わうことができますので、ぜひ行ってください。



ドイツ館前のナタリー



ドイツ館

【モンゴル館（オギー通信）】

モンゴル館は多国籍エリアのコモンズDにあります。入ってまず目を引かれるのは、6～8世紀に作られた人石（人間の形の石像）でした。今回はチンギスハーンナショナル博物館から人石を含めて28点の貴重な展示品を万博に運んで来たそうです。その中で私がオススメしたいのは、13世紀チンギス・ハーンの頃から使い始めたパスポート「ゲレゲ」です。ゲレゲは王様から特別に許可をされた人にしか発行されない許可証です。それを見たとき、まるでその時代にタイムスリップしたような気持ちになりました。また、モンゴル系諸語の文字の展示もあり、長い歴史の中で様々な民族の影響を受けて変化してきた事が分かります。



▲モンゴル館



▲昔のパスポート「ゲレゲ」



▲国際交流員のオギー

その他ショップもあり、革製品、羊毛フェルトで作ったぬいぐるみ、キーホルダーなどを販売していました。人が多いですが予約なしで入れますので、ぜひモンゴル館を楽しんでください。